

## 東日本大震災被災者の方々への義援金について（御礼）

当協会では、東日本大震災で被災された方々の一助となればと震災の直後より義援金口座を開設し、会員の皆さまの温かいお気持ちにより、総額13,568,390円の義援金が集まりました。この義援金のうち1100万円を皆さまの温かいお心とともに、福岡県を通じて中央共同募金会に寄付させていただきました。残りの2,568,390円は西日本新聞民生事業団の「まごころ募金」に寄付し、震災孤児の方などの支援に充てていただいています。

また、被災者支援住宅につきましては、約3000件の物件をご登録いただき、実際に多くの被災者の方々が入居されています。入居者の中には身重の身体で宮城県から一人で福岡へたどり着き、当協会の会員の協力により、被災者支援住宅にすみやかに入居できたという方もおり、感謝のお言葉もいただきました。

会員の皆さまのこのようなご厚意に深く感謝を申し上げるとともに、みなさまと一緒に復興支援のお手伝いができることに喜びを感じております。

義援金口座につきましては、9月末日をもちまして閉鎖させていただきました。あらためて、皆様方に感謝申し上げます。

当協会では、株式会社不動産会館と協同でノベルティグッズとして独自に製作していた防犯ブザー計2300個やレスキューセット計45個を被災地の宅建協会に寄託し、被災地の方々にお届けするなど独自の支援も続けており、今後も微力ながら支援を続けて参ります。

被災者支援住宅につきましては、引き続き開設し、被災地への支援を続けて参りますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

被災地の一日も早い復興を願っています。

平成24年1月

(社)福岡県宅地建物取引業協会  
会長 北里 厚